

報道関係各位

ニュースリリース

2020 年 7 月 28 日

株式会社インテージヘルスケア

2020 年 6 月度 市販薬(OTC)市場トレンド 新型コロナウイルスの影響による不調がやや改善 風邪関連薬が前年比 59.5%。感染予防習慣が定着？

株式会社インテージヘルスケア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：仁司与志矢）は、全国一般用医薬品（OTC）販売動向調査のデータを基に、「2020 年 6 月度 市販薬^(※1) 市場トレンド」を発表しました。

※1 市販薬：ドラッグストアや薬局で販売される一般用医薬品（OTC）のこと。当社データは指定医薬部外品を含みます。

◆ 6 月度の販売金額は 871 億円、前年同月比 95.7%。過去 5 年間の 6 月の平均で 2 番目に低かったものの、前月に比べてやや改善傾向「市販薬市場の販売金額推移」

市販薬市場の販売金額推移

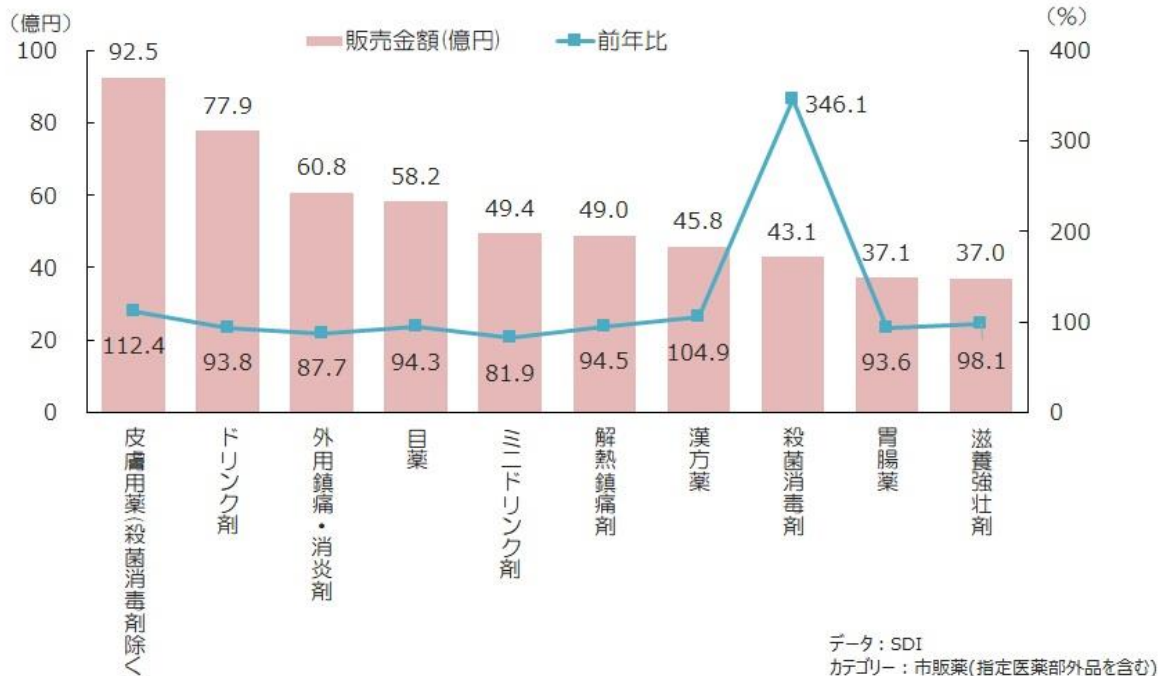


6 月度の市販薬の市場規模は 871 億円、前年同月比は 95.7%で、過去 5 年間の 6 月の販売金額の平均を 100 とした場合の指数で見ると 2 番目に低い 97.4 でした。5 月までの前年比と比較するとやや改善は見られたものの、新型コロナウイルスの影響によって風邪関連薬^(※2)やドリンク剤、訪日観光客に人気の薬効などでは記録的な不振が続く一方で、感染予防関連商品は引き続き好調でした。

※2 風邪関連薬市場：総合感冒薬、鎮咳去痰剤、口腔用薬、葛根湯（漢方薬）の合計

◆ 殺菌消毒剤は大幅増の前年比 346%。皮膚用薬が好調を維持する一方で、総合感冒薬は上位 10 薬効から後退「主要薬効の販売金額および前年比」

主要薬効の販売金額および前年比（2020年6月度）



〔好調だった薬効〕

新型コロナウイルスの影響による市場動向は、前月とほぼ変わりませんでした。

販売金額上位 10 薬効の中で、前年同月比で最も好調だったのは殺菌消毒剤で、前年比 346.1%、43.1 億円と過去最高の販売金額となりました。これはジェルタイプを中心とした手指消毒剤が前年比 18.0 倍の 32.6 億円という記録的な売上となったことによるものです。

次いで、皮膚用薬（殺菌消毒剤を除く）は前年比 112.4%の 92.5 億円でした。その内訳を見ると、湿疹・皮膚炎対処用の治療薬が前年比 122.0%の 26.3 億円、虫刺され治療薬が 115.0%の 33.8 億円などとなっています。この背景には、アルコール消毒による手荒れや、マスクの継続的な着用による皮膚トラブルが増えていることが考えられます。また、気温が高めだったことと、日用雑貨品としての殺虫剤が好調であることから、虫さされが増えていることがうかがえます。

〔不調だった薬効〕

出勤・旅行・外飲みなどの外出自粛の影響が大きいと考えられるのはドリンク剤です。前年比 93.8%で、特に店頭で購入してその場で飲める 1 本タイプの落ち込みが目立っています。ほかにも胃腸薬が前年比 93.6%、鎮痛剤（乗り物酔い止め）が 41.2%などと大幅な不振が続いていますが、いずれも前年比では前月より改善が見られました。

総合感冒薬は、本調査が POS データのオンライン収集を開始した 1996 年 4 月以来初めて、販売金額上位 10 薬効からはずれて 11 位となり、前年比 56.8%の 33.8 億円となりました。風邪関連薬の前年比は、鎮咳去痰剤が 59.5%、のどスプレータイプの口腔用薬が 63.2%、葛根湯が 81.6%などと、前月に引き続き記録的な大幅マイナスとなっています。外出機会の減少に加え、マスクの着用、手洗い・うがいの習慣が定着し、風邪をひく人が少なくなっていると考え

えられます。また、風邪をひいた時の滋養強壮剤として売れるミニドリンク剤も 81.9%となっています。

外用鎮痛・消炎剤も 87.7%と不振でした。これはインバウンドに人気の貼り薬や塗り薬の需要が激減したことが主な要因です。

◆SDI（全国一般用医薬品パネル調査）◆1960 年調査開始 ※2018 年 4 月度から調査設計を変更

対象業態	OTC 医薬品を販売しているドラッグストア、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター・ディスカウントストア
エリア	全国
調査店舗数	3,245 店舗
データ収集方法	POS データのオンライン収集
対象カテゴリー	医薬品、指定医薬部外品 (対象カテゴリーのバーコードが付与されている商品のみ)
調査項目	各店舗におけるバーコード別の販売年月日、販売個数、販売金額など

【株式会社インテージヘルスケア】 <https://www.intage-healthcare.co.jp/>
 株式会社インテージヘルスケアは、ヘルスケア領域のマーケティングリサーチおよび医薬品開発・製造販売後調査・安全性業務支援をコアビジネスと位置付けています。インテージグループのヘルスケア領域を担う各社※と一体となり、ソリューションを提供。それにより、ヘルスケア領域のあらゆる課題に対して、「医療消費者」起点のデータの価値化による、最適な意思決定をサポートしていきます。

株式会社インテージヘルスケアは 2019 年 4 月、株式会社アスクレップと株式会社アンテリオが経営統合し、スタートしました。

※ 株式会社協和企画、株式会社医療情報総合研究所、株式会社プラメド、Plamed Korea Co., Ltd.

【報道関係のお問い合わせ先】

■株式会社インテージヘルスケア

経営企画本部 コーポレート支援グループ 広報担当 林（はやし）

TEL：03-5294-8393(代)

お問い合わせ：pr-ihc@intage.com

【本調査に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージヘルスケア

マーケティング・インサイト事業部 コンシューマーヘルスケア・ソリューション部

担当：草間（くさま）・加藤（かとう）

TEL：03-5294-8393(代)

「お問合せフォーム」<https://www.intage-healthcare.co.jp/contact/service/>